

登録コード	T0Q23900	開講年度	2026				
授業科目	地学概論（24T以降）					担当教員	桜井 達雄
英文授業名	Introduction to Earth Science					副担当	
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限		対象学生
講義室	共通教育53講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 5Tカリ						
	【22T～】 様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				⇔	地球や地球を取り巻く自然現象を科学的に正しく捉え、持続可能な社会づくりに携わる一員として必要な基礎的・基本的概念を理解するとともに、将来地学教育に携わることを仮定して、これらの地学的概念を表現できるようになること。	
	2 6Tカリ						
	【26T～】 共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	地球や地球を取り巻く自然現象を科学的に正しく捉え、持続可能な社会づくりに携わる一員として必要な基礎的・基本的概念を理解するとともに、将来地学教育に携わることを仮定して、これらの地学的概念を表現できるようになること。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	身近な環境から宇宙全体まで様々なスケールにわたる内容であるが、これを「地球の概観」「地球の活動と歴史」「大気と海洋」「宇宙の構造」の4項目に整理し、特に「宇宙の構造」に重きを置いて進めていく。個々の事象を扱う際には時間的・空間的スケール感に留意し、また地球環境問題、自然災害との関連性を重視して進めていく。						
(5)授業計画	第1回：「地球の概観」 プレートテクトニクス、地震、火成活動 第2回：「地球の活動と歴史」 地層、地球環境の変遷、日本列島の成り立ち 第3回：「大気と海洋」 大気・海洋の運動と気象、気候変動と地球環境 第4回：「宇宙の構造」 地球の自転と公転、太陽の活動 第5回：「宇宙の構造」 太陽系の天体とその運動 第6回：「宇宙の構造」 恒星の性質と変化 第7回：「宇宙の構造」 銀河系の構造 第8回：「授業の振り返り」 まとめレポートの作成と授業のふりかえりに入力						
(6)成績評価の方法	・ 毎回の授業内における課題（80％）、授業への取り組み（20％）を基本として総合的に判断する。						
(7)成績評価の基準	規準：概ね達成されていると判断されるレベル ① 中学校理科の地球領域に関する内容を理解している。 ② 高等学校「地学基礎」「地学」の内容を概ね理解している。 ③ ①②の内容を説明することができる。 基準 「やや上にある」：規準の①②を十分に満たした上で、その内容を説明できる。 「かなり上にある」：規準点の①②を十分に満たした上で、その内容を自分の言葉で分かりやすく説明できる。						
(8)事前事後学習の内容	・ 中学校・高等学校における地学領域の教科書内容を一読し、臨めるとよい。						
(9)履修上の注意	授業ごと事前にeALPSに掲載するデータ及び授業内で配布する紙ベース資料をテキストとする。						
(10)質問,相談への対応	講義前後、随時対応します。 メール：sakurai@shinshu-u.ac.jp						
(11)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない。						